

# 仙北市商工会 アクションプログラム

## 戦略・施策の体系表

戦略		施策	
共通 戦略 1	革新的な経営戦略に踏み込んだ支援の推進	施策 1	経営の高度化・変革につながる戦略的支援の推進
		施策 2	企業の成長段階に適した総合支援体制の強化
共通 戦略 2	新たな可能性を切り拓く多様な連携の推進	施策 3	ビジネス創造・成長のための連携支援
		施策 4	地域の課題解決に向けた関係機関との連携強化
共通 戦略 3	成果を創出し続ける組織・運営体制の構築	施策 5	多様な人材活躍による商工会活動「見える化」の推進
		施策 6	次代を見据えた商工会活動基盤の強化
独自 戦略 1	仙北市の魅力を活かした域外需要獲得の推進	施策 7	商品・サービスの魅力向上支援の強化
		施策 8	域外需要獲得に導く販路開拓支援の強化
独自 戦略 2	仙北市商工会ならではの観光交流人口拡大の推進	施策 9	安心・安全・快適な受入れ環境整備の推進
		施策 10	地場産品を活用した「食」による誘客の推進

## 1 仙北市商工会アクションプログラム推進のスローガン

『地域の未来を守るため“行動”“連携”“実現”』

第2期商工会アクションプログラムは、県連合会と県内21商工会が「変化に対応した確かなビジョンと実行力で地域と事業者とともに挑み続ける商工会」を旗印のもと、共通戦略や独自戦略に基づく施策・事業を推進していきます。

商工会は、地域経済をリードする総合経済団体として、事業者の持続的発展と地域経済活性化に貢献し、成果を出し続けるため『地域の未来を守るため“行動”“連携”“実現”』をスローガンのもと第2期仙北市商工会アクションプログラムを展開していきます。

## 2 仙北市商工会の目指す姿

『仙北市の魅力“稼ぐ力”の創出に導き、存在感を放つ商工会』

仙北市の人口減少に歯止めがかからない状況が続く中、新型コロナウイルス感染症拡大や自然災害の頻発などの影響を受け、事業者を取り巻く環境は大きく変化し、経営課題の多様化・複雑化が進む一方で、多くの魅力ある地域資源を有する可能性を秘めた地域であります。

そのため、商工会は、これまで以上に事業者の期待にしっかり応え、新たな変化に臆することなく挑戦し続け、『仙北市の魅力“稼ぐ力”の創出に導き、存在感を放つ商工会』の実現に向け、変革の取組を進めていきます。

## 3 仙北市商工会アクションプログラムの推進に当たっての基本方針

### (1) 商工会ネットワークを活かした取組

商工会の強みであるネットワークを存分に活用し、事業者支援や商工会事業に取り組みます。

### (2) 事業者視点を重点にした成果の把握

商工会アクションプログラムに掲げる成果については、具体的かつ分かりやすく示し、事業者視点の成果の把握に加え、施策によっては市民視点による成果について把握します。

### (3) 評価結果を踏まえた事業計画への反映

評価結果を基に成果や課題について検証し、柔軟に見直し・改善を図り毎年度の事業計画に反映させます。

#### (4) 環境変化への対応

アクションプログラムの取組については、社会・経済の動きを正確に把握し、更に将来にわたってどのような変化が起こりうるのかを認識した上で、確認・点検・適宜修正し、毎年度の事業計画に盛り込み迅速・的確に進めます。

#### (5) 行政や関係機関との連携強化

地域産業の課題について、行政や関係機関とパートナーシップやチームワークを強固にし、課題解決を図ります。

### 4 独自戦略の設定理由とその概要

#### 【独自戦略1】仙北市の魅力を活かした域外需要獲得の推進

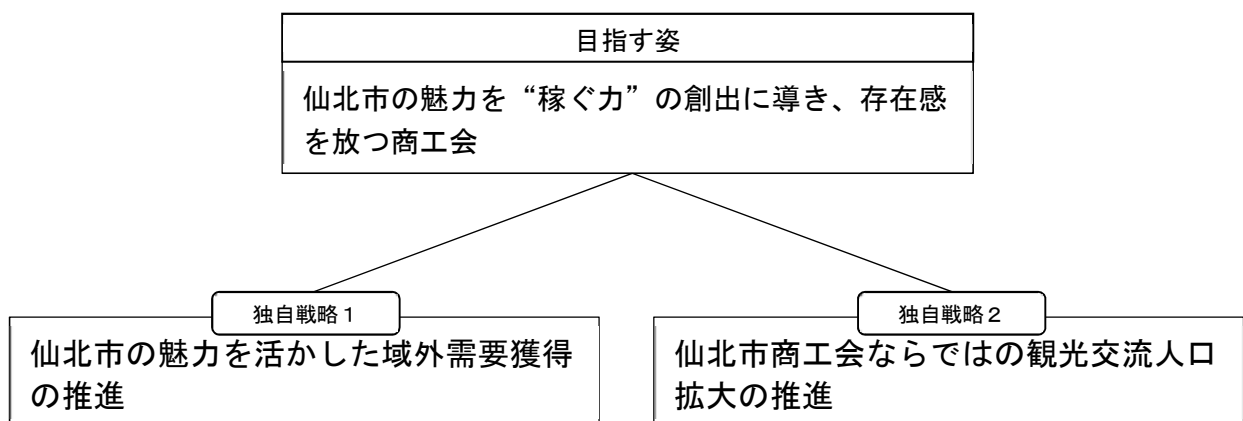
地域内のマーケット縮小が急激に進む中で、事業者は、商品力を高めながら域外に積極的に売り込んでいくことが必要です。

そのため、商工会では、事業所の商品開発やブランディング等の支援を強化し、新市場開拓を目指す事業者に対し、物産展や商談会などの新たな販路拡大の機会を提供するとともに、海外市場への販路開拓を目指す事業所に対し積極的な支援を行っていきます。

#### 【独自戦略2】仙北市商工会ならではの観光交流人口拡大の推進

当市は、豊富な観光資源と恵まれた自然景観にあふれ、交通アクセスの面でも秋田新幹線の2つの駅があり、数々の優れた資源と恵まれた立地を活かした県内屈指の観光地であります。しかし、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、市内観光関連産業に大きな打撃をもたらしております。

そのため商工会では、新型コロナウイルス感染症や自然災害等の経験から観光関連事業者の安全・安心対策や快適に滞在できる環境整備を支援するとともに観光客をあたたかく迎える受入意識の醸成を図ります。また、地域の安全な季節毎の地場産品を活用した「食」の普及を図ることで、交流人口の拡大に繋げ、地域経済の活性化を図ります。



## 施策1 経営の高度化・変革につながる戦略的支援の推進

### 1 施策展開方向

社会・経済環境や消費構造が激変していく中、これまでの経営スタイルでは限界があり、これからの企業経営は、成長分野への業態転換・事業転換やデジタル技術を活用した生産性向上など、成長の原動力となる革新的な取組にチャレンジしていくことが重要となっております。

商工会はこれまで実施してきた個社支援に更に磨きをかけ、新事業の展開や新分野への進出、経営の多角化などへの対応を着実に進め、事業者が変化を乗り越え、新たなビジネスチャンスや成長に繋げていくためのサポートに取り組みます。

### 2 施策目標

#### (1) 業種転換・事業転換による新たなビジネスチャンスへの支援

事業経営の多角化・高度化する経営課題に加え、新型コロナウイルス感染症などの外部環境変化を的確に捉え、将来にわたり持続可能な企業成長に繋がる取組に挑む事業者の「変革」と「挑戦」を支えるため、戦略的個社支援を推進します。

「変革」と「挑戦」を支える戦略的 事業計画の実現企業数 <small>経営革新計画・経営力向上計画・事業再構築補助 金等の活用した実現件数（累積）</small>	基準値	目標値（単位：件）				
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	-	4	8	12	16	20

#### (2) 新たなビジネスを生み出す創業実現化

地域経済を支え地域活性化の礎となる事業者の、起業・創業を創出し、地域経済の好循環を生み出します。

域内起業・創業の実現化 <small>5年間で25件とする目標値（累積）</small>	基準値	目標値（単位：社）				
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	-	3	8	15	20	25

### 3 取組内容

#### (1) 経営分析からの課題抽出・解決に向けた計画策定支援

経営分析から、今後進むべき方向性策定及び計画実現、継続的なフォローアップを伴走型支援により実施します。

##### ① 経営環境を把握する経営分析セミナーの実施

自社の経営状況を分析し、経営課題の抽出から解決に向けた計画策定、計画実行の進捗度合を伴走型支援によりフォローアップを行います。

②地域経済動向調査から事業者への情報発信の実施

中小企業景況調査に加え、仙北市の全産業・業種毎の動向調査を実施し、地域特性や課題等を明確化し事業展開基礎データとして、事業者に向け情報発信・計画策定への活用を行っていきます。

【取組実施工程表】

R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度
・課題抽出・計画策定・実行フォローアップ支援	・実行支援 ・支援手法検証・改善	→→→→→→→→	→→→→→→→→	→→→→→→→→
・地域経済動向調査情報発信・計画策定への活用	→→→→→→→→	→→→→→→→→	→→→→→→→→	→→→→→→→→

(2) 変化を乗り越え新たなビジネスチャンスや成長を支援

感染症や自然災害などの外部環境の変化に対応した、将来にわたり持続可能な企業成長に繋がる戦略的個社支援を推進します。

①革新的な取組に挑む事業者支援

「業態・事業転換」や「新分野進出」を視野に入れた事業計画策定セミナーを開催し、経営革新計画や経営力向上計画、事業再構築補助金等の活用を促し、その策定及び実現に向けた支援を行います。

②事業経営の多様化・高度化する経営課題解決

商工会チーム支援体制の強化及び県連合会専門家派遣制度を活用し、多様化・高度化する経営課題解決に向けた相談体制から事業者を支援します。

③市場変化に柔軟に対応したICT導入支援

ウイズコロナ・アフターコロナの時代に即した、ICTを活用した販路開拓や非接触ツールなどの環境整備・設備導入の支援を行います。

【取組実施工程表】

R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度
・革新的な取組実現に向けた計画策定・実現支援	・実行支援 ・支援手法検証・改善	→→→→→→→→	→→→→→→→→	→→→→→→→→
・商工会チームによる相談体制の強化	・チーム支援実行 ・支援体制検証・改善	→→→→→→→→	→→→→→→→→	→→→→→→→→
・補助金等を活用した販路開拓・非接触ツール環境整備・設備導入支援	・実行支援 ・支援手法検証・改善	→→→→→→→→	→→→→→→→→	→→→→→→→→

### (3) 観光地ならではの創業支援

地域活性化の源泉である起業を実現するため、行政機関と連携した創業支援策の拡充と環境づくりを支援します。

#### ①創業・経営塾開催による精度の高い創業計画の策定支援

起業希望者支援のため創業塾を開催、精度の高いより実効性のある計画策定支援とともに、伴走型支援により継続した支援を行います。

#### ②行政機関と連携した創業支援施策の拡充

行政機関と連携した、起業希望者に対する創業施策・空き店舗利活用情報を提供しながら、より起業し易い環境づくりの支援を行います。

#### 【取組実施工程表】

R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度
<ul style="list-style-type: none"> <li>創業・経営塾開催による創業計画策定・継続支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実行支援</li> <li>支援手法検証・改善</li> </ul>	→→→→→→→→	→→→→→→→→	→→→→→→→→
<ul style="list-style-type: none"> <li>行政機関等と連携した継続支援と各種施策情報提供・活用</li> </ul>	→→→→→→→→	→→→→→→→→	→→→→→→→→	→→→→→→→→

## 施策2 企業の成長段階に適した総合支援体制の強化

### 1 施策展開方向

少子高齢化による地域マーケット縮小と労働力低下をもたらす人口減少を受け、地域住民の雇用や暮らしに今後も大きな影響を及ぼすことは避けられず、企業の成長ステージや経済動向の変化に適した各種支援策を提案・活用した、資金繰り改善・事業計画・事業承継計画策定を支援する総合的支援体制の強化に取り組みます。

### 2 施策目標

#### (1) 財務状況が厳しい事業者への経営改善計画書の策定による資金繰り改善

新型コロナウイルス感染症の影響により、地域事業者の財務状況の悪化が懸念されていることから、経営改善計画書の策定支援を強化します。

経営改善計画書策定による資金繰り改善事業者数 返済猶予・緩和等実現事業者	基準値	目標値(単位:件)				
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	-	3	6	6	6	6

#### (2) 事業承継策定計画実行による事業承継実現

事業承継策定から実行までを支援し、事業承継を実現し地域事業者の維持に努めます。

事業承継実現数 親族内承継・第三者承継・M&A等の事業承継の実現数(累積)	基準値	目標値(単位:件)				
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	-	2	4	6	9	12

### 3 取組内容

#### (1) 経営の強靱化を図る支援体制の強化

長引く新型コロナウイルス感染症の影響により、地域事業者の経営状況は厳しさを増す一方にあり事業継続・発展に向けた支援を強化します。

##### ①事業継続のための経営安定特別相談窓口の機能強化

債務超過等による経営状況の悪化が懸念される事業者に対し、資金繰りの管理や採算管理が行えるよう経営改善計画書の策定支援を強化します。

##### ②記帳継続指導による経営支援強化

ネットde記帳・新会計システムによる財務データを活用し、現状の分析から事業者個々に合わせた経営改善提案を実施します。



【取組実施工程表】

R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度
・経営改善計画書 策定支援	・実行支援 ・支援手法検証・ 改善	→→→→→→→→	→→→→→→→→	→→→→→→→→

(2) 事業承継の早期実現支援

後継者がなく将来的に事業の存続の危機にあり、事業を次の世代に託したい事業者に対して、早期に適切な事業承継支援に着手し、実現化に努めます。

①事業承継計画書の策定支援

早期の事業承継計画策定並びに経営者保証解除を活用した承継の円滑化を支援します。

②関係機関との連携や専門家活用による支援

「秋田県事業承継引継ぎ支援センター」などと連携によるマッチング支援推進と、専門家による課題解決支援を行います。

【取組実施工程表】

R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度
・事業承継計画策 定・実行支援	・実行支援 ・支援手法検証・ 改善	→→→→→→→→	→→→→→→→→	→→→→→→→→



## 施策3 ビジネス創造・成長のための連携支援

### 1 施策展開方向

厳しい経営環境に置かれている中小企業の競争力強化や販路の拡大を図るためには、個別企業に視点を置いた支援だけでは高度化・多様化の新規事業開発に限界があります。

異業種も含めた新たな提案型の事業者間連携の育成を通じて、優れた技術やサービスの組み合わせによる新商品・サービスの開発など、新たな価値の創出や販路の拡大などを図っていくための必要な支援を積極的に行います。

### 2 施策目標

#### (1) 事業者間連携による新たな事業展開のコーディネート

競争力強化や販路拡大を図る事業者に対し、他の事業所との連携を提案し、新たな価値の創出や販路拡大の機会を創出します。

事業者間連携のコーディネート数 2年目以降各年度1件とする目標値	基準値	目標値(単位:件)				
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	-	0	1	1	1	1

#### (2) 商工業者と農業者とのマッチングによる新サービスの創出

地域の生産者とのネットワークを構築し、商工業者と農業者をマッチングし、新たな新サービスを創出します。

商工業者と農業者とのマッチング数 2年目以降各年度1件とする目標値	基準値	目標値(単位:件)				
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	-	0	1	1	1	1

### 3 取組内容

#### (1) 事業者間連携のコーディネート

事業者同士の強みを活かした連携により、新たな価値の創出や事業機会の拡大を図るため、商工会がコーディネート役となり推進します。

##### ①連携希望事業者の掘り起こしと情報収集

生産性向上や新サービス提供などの取組を計画し、他の事業者との連携を模索している事業者の掘り起こしと情報収集に努めます。

##### ②商工会の強みを活かしたコーディネート機能の強化

地域の多くの商工業者や関係機関とのネットワークを活かしたビジネスマッチングや事業者間連携のコーディネート機能を強化します。

【取組実施工程表】

R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
<ul style="list-style-type: none"> <li>先進事例の収集分析</li> <li>連携希望事業者の掘り起こし</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>随時収集</li> <li>随時掘り起こし</li> </ul>	→→→→→→→→	→→→→→→→→	→→→→→→→→
<ul style="list-style-type: none"> <li>コーディネート機能の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コーディネート機能の確立・実行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コーディネート実行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コーディネート実行・機能検証</li> </ul>	→→→→→→→→

## (2) 農商工連携による地域物産振興の促進

地域の農産物資源を活用した地域ブランド化を推進するため、農商工連携の取組を支援します。

### ①生産者とのネットワーク構築

生産者と小売業者をはじめ、食品製造業、観光等多様な分野の業種の方が交流・連携し、農産物等を活用した創造的活動を支援するためのネットワークを構築します。

### ②商工業者と農業者とのマッチング機能構築

商工会のネットワークを活用し、地域の生産者や行政と連携し、商工業者と農業者をマッチングします。

【取組実施工程表】

R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
<ul style="list-style-type: none"> <li>生産者の情報収集</li> <li>生産者とのネットワーク構築</li> </ul>	→→→→→→→→	→→→→→→→→	→→→→→→→→	→→→→→→→→
<ul style="list-style-type: none"> <li>マッチング機能の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>マッチング機能の確立・実行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>マッチングの実行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>マッチング実行・機能検証</li> </ul>	→→→→→→→→

## 施策4 地域の課題解決に向けた関係機関との連携強化

### 1 施策展開方向

地域の課題解決には、行政をはじめとする関係機関と地域の産業振興の方針・方向性を共有し、カウンターパートとして地域の産業振興を推進していくことが重要です。

商工会は、事業者の「現場の声」を把握し、それらの声を関係機関と共有化し連携することで事業者ニーズに対応した制度の構築と産業振興を推進します。

### 2 施策目標

#### (1) 「事業者の声」を反映した要望・提言活動

事業者の思いと行政の政策が同じ方向になるよう、行政との連携をより強化し要望・提言活動を積極的に行います。

要望政策実現数 令和8年度まで5件の政策を実現する目標（累積）	基準値	目標値（単位：件）				
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	-	1	2	3	4	5

#### (2) 関係機関・団体等との連携による産業振興策の取組

関係団体等と連携し、地域の産業振興に繋がる事業等に取り組みます。

連携事業の取組数 関係団体等との連携事業等の取組数（累積）	基準値	目標値（単位：件）				
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	-	-	2	3	4	5

### 3 取組内容

#### (1) 行政との連携強化による要望・提言活動の推進

政策の実行性と効果を高めるため、会員事業所の思いと政策が同じ方向になるよう行政との連携をより強化し、要望・提言活動を積極的に行います。

##### ①行政懇談会の拡充

行政に対し商工会が地域経済に果たしている役割を共有するとともに、要望・提案・意見交換を行うため懇談会の拡充を図ります。

##### ②行政担当課との（仮称）課題解決検討会議の定期的開催

地域の事業者の抱える課題や商工会運営等に関する課題に対して、有効な解決策を検討するため、担当課との定期的な会議を開催し、情報共有を図るとともに、政策の推進に繋がります。

【取組実施工程表】

R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度
・行政懇談会の見直し・開催	・行政懇談会の開催	・懇談会のあり方検証・改善	→→→→→→→→	→→→→→→→→
・課題解決検討会議設置・開催	・課題解決検討会開催	・検討会のあり方検証・改善	→→→→→→→→	→→→→→→→→

(2) 関係機関・団体等との連携による産業振興策の推進

地域DMOを中心とした関係機関・団体と連携し、地域の産業振興に資する支援や事業に取り組みます。

①関係機関・団体等と連携した事業展開

様々な機関・団体等との連携を模索し、地域の産業振興に繋がる取組を検討し、連携事業を実施します。

②地域DMOとの連携による受入れ体制の整備の推進

(一社) 田沢湖・角館観光協会(地域DMO)と連携し、ニューノーマル時代の「新たな旅のカタチ」に向けた観光関連事業者の対策を加速化します。

【取組実施工程表】

R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度
・連携事業の模索・検討	・連携事業の実施	・連携事業の検証・改善	→→→→→→→→	→→→→→→→→
・環境整備対象の検討	・事業者支援 ・関係機関へ要望	→→→→→→→→	→→→→→→→→	→→→→→→→→

## 施策5 多様な人材活躍による商工会活動「見える化」の推進

### 1 施策展開方向

商工会が地域経済の発展に欠かすことのできない存在であり続けるには、その価値を磨き、積極的な活動を発信し、広く社会の賛同を得る必要があります。

商工会活動で今まで活躍の機会が少なかった女性を組織内に登用し、組織の活性化を図るとともに、商工会の事業活動や役割について、会員のみならず地域社会に幅広く理解してもらうため、インターネットやメディアを通じた広報・意見具申活動を強化し、社会的露出拡大に努めていきます。

### 2 施策目標

#### (1) 事業者が主体となった部会活動の活発化

事業者が主体となり、経営や地域の課題解決に繋げる事業を企画し、横断的な部会活動の活発化を図ります。

事業者が主体となった部会事業の実現数 自主的に実施した活動数を目標に設定	基準値	目標値(単位:件)				
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	-	3	6	6	6	6

#### (2) 女性の積極的登用による商工会活動の活性化

商工会組織の活性化を目的とし、組織運営の中核となる総代・役員・委員等へ積極的に登用、また、多く意見を募るための女性が交流できる機会を創出していきます。

地域の声を組織運営に反映させる女性登用 組織運営の核となる総代・役員への女性の登用	基準値	目標値(単位:人)				
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	-	10	10	15	15	15

### 3 取組内容

#### (1) 会員交流事業や部会活動の活発化

「開かれた商工会」を意識、行動、発信に努め、誰もが参加しやすい会員交流事業に繋がります。

##### ①業種別・地区別・規模別などの会員交流会の開催

ビジネス機会・事業者間連携の創出など会員にとって実りある交流会にするとともに部会同士で横断的な活動を行い部会活動の活発化を図ります。

##### ②会員との情報共有や意見集約の仕組みの構築

あらゆる機会やSNS活用を含めた多様な手段を通じて、会員との情報共有や意思疎通を図り、参画機会の拡大や意見集約機能の仕組みを構築します。

【取組実施工程表】

R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度
・部会事業の方針 検討	→→→→→→→→	・部会の役員改選	・部会事業の方針 検討	→→→→→→→→
・会員交流事業の 見直し・実施	・会員交流事業の 実施	・事業の検証・改 善	→→→→→→→→	→→→→→→→→

(2) 商工会活動での女性活躍の加速化

女性の能力や意見を取り入れることで商工会活動の活性化に繋がるとともに、組織風土を改革します。

①商工会組織での女性の登用

更なる組織活性化を図るため、組織運営の核となる総代や役員への登用を積極的に実施し、新たな視点による意見を聴取し組織運営に反映していきます。

②女性部活動の活性化

地域振興事業を通しての地域活性化は必要不可欠であり、女性部独自の事業や関係団体と連携した事業活動を実施していきます。

【取組実施工程表】

R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度
・組織活性化のた めの女性登用	→→→→→→→→	・組織活性化のた めの女性登用	→→→→→→→→	→→→→→→→→

(3) タイムリーな情報発信とメディア活用

商工会活動への理解を高め、事業等への参画を促すため、情報発信力の強化を図るとともに、提言・要望などの事業成果などを積極的にPRします。

①インターネットやメディアを通じた事業広報の強化

商工会の事業や事業者の取組などについて商工会のウェブサイト・SNSでの発信とともに、メディア関係者との連携を強化し、情報発信機会の向上を図ります。

②市民向け広報の発行

商工会の認知度とイメージ向上のため、商工会活動を紹介する広報誌を市内全世帯へ配布します。

③SNSを活用した事業者による商工会活動発信の促進

事業者のSNSの活用促進を図るとともに、商工会活動に参画した事業者による商工会活動の発信を促進します。

【取組実施工程表】

R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報発信手法の検討</li> <li>・情報発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報発信</li> </ul>	→→→→→→→→	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報発信検証・改善</li> </ul>	→→→→→→→→
<ul style="list-style-type: none"> <li>・メディアとの連携強化</li> <li>・プレスリリース手法検討</li> <li>・プレスリリース</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレスリリース</li> </ul>	→→→→→→→→	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレスリリース検証・改善</li> </ul>	→→→→→→→→



## 施策6 次代を見据えた商工会活動基盤の強化

### 1 施策展開方向

今後の人口減少により地域経済の縮小や行政サービスの縮小も懸念されているなかで、商工会が自主自立の組織運営を行うための人的・財政的な基盤が縮小されることも想定する必要があります。

限られた商工会資源（人材・資産・財源・情報）を効果的に活用するため、次代を見据えた活動基盤を構築します。

### 2 施策目標

#### (1) 組織体制見直しによる財政基盤の強化

職員数の削減や歳入の減少など、将来予測される影響を最小限にとどめるため、本支所の統廃合を含めた事務局体制と財政基盤の強化策を検討・策定・実行していきます。

事務局体制整備検討会での協議・ 計画策定による自己財源比率向上 事務局体制整備検討会での組織体制・財政評価 の実施	基準値	目標値（単位：％）				
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	-	37	38	38	39	40

#### (2) 事業・業務見直しによる支援体制の強化

商工会資源を効果的に個社支援や今後進める地域振興に活かすため既存事業・業務を抜本的に見直し、改善していきます。

事業・業務の改善実行数 改善策実行件数（累積）	基準値	目標値（単位：件）				
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	-	0	3	6	8	10

### 3 取組内容

#### (1) 環境変化に対応した事務局体制の整備

事業者数や会員数の減少、更には、職員数の削減や歳入の減少も視野に入れた組織リスクを回避するため本支所の統廃合を含む検討を重ね、事務局体制と財政基盤強化について環境整備を行います。

##### ①（仮称）「次代の事務局体制整備検討会」の開催

限られたマンパワーでも事業者の期待に応えられる会員サービスを実施していくため、最適な事務局体制と統廃合を含めた本支所の在り方について、事務局体制整備検討会で協議し、次代の組織体制を構築していきます。

② (仮称)「次代の事務局体制整備計画」の策定・実行

次代の事務局体制整備に加え、歳入の減少にも耐えうる財政基盤維持のため、本支所の維持管理費を含めた支出削減の検討と、会費・各種手数料の見直しによる自主財源確保を実行していきます。

【取組実施工程表】

R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度
・次代の事務局体制整備検討会の開催	・最適な事務局体制の検討	→→→→→→→→	・新事務局体制の整備準備	・新事務局体制の整備
・財政基盤強化のための収支分析	・中長期の財政シミュレーション	・会費・手数料等の見直し検討	・会費・手数料等の見直し実行	→→→→→→→→

(2) 事業者サービス向上への事業・業務の見直し

商工会資源を効果的に個社支援や地域振興に活かすため事業・業務を抜本的に見直し、改善していきます。

① ICT活用による支援サービスの向上と業務の効率化

取扱情報や財務アドバイス等のデジタル化によるサービス品質の向上を図るとともに、さらなる各種申請等の電子化を進め業務の効率化を図ります。

②地域振興事業の見直し

第2期商工会アクションプログラムで行う事業を推進するにあたり、既存事業を見直し、事業の統廃合等を進めます。

【取組実施工程表】

R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度
・ICT活用の研究	・業務改善へ導入・検証	→→→→→→→→	→→→→→→→→	→→→→→→→→
・申請システムの活用・導入検討	・新たな申請システムの導入	・システム活用による業務改善検証	→→→→→→→→	→→→→→→→→
・既存事業の検証	・既存事業の統廃合	・既存事業の統廃合・検証	・既存事業の統廃合検証	→→→→→→→→

(3) 職員の資質向上策の推進

事業所の期待に応える事業・業務を推進できるよう、全職員が常に現場主義を徹底し、自ら研鑽に努め、目的意識と資質の向上に努めます。

①OB職員活用によるOJT推進

職員の世代交代が進む中で、新任や経験の浅い職員のスキルアップのためOB職員を活用し、事業者支援のノウハウ伝承を含めたOJTを進め支援力を強化します。

②近隣商工会との広域連携による課題別研修会の開催

多様な経営課題に対応するため、近隣商工会と連携した独自研修会を開催し、課題解決力の向上を図ります。

【取組実施工程表】

R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・OB人材の情報収集・活用策検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・OB人材活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・OB人材活用・検証</li> </ul>	→→→→→→→→→→	→→→→→→→→→→
<ul style="list-style-type: none"> <li>・連携による課題解決力向上研修開催</li> </ul>	→→→→→→→→→→	→→→→→→→→→→	→→→→→→→→→→	→→→→→→→→→→

## 施策7 商品・サービスの魅力向上支援の強化

### 1 施策展開方向

当市で魅力的な商品を製造・販売している意欲の高い事業者を掘り起し、地域の強みや資源を活かした魅力ある商品の開発、既存商品のブランディング・ブラッシュアップ・プロモーション支援を強化するとともに、豊かな農林水産物と様々な地域資源（自然・歴史・伝統・文化など）を有効活用して、一次・二次・三次産業が自らの強みを生かし様々な形で融合した6次産業化を支援します。

### 2 施策目標

#### (1) 商品の魅力アップ支援

商品の課題解決のための実践的な支援を行い、商品の魅力向上・新たな販路開拓の支援を強化します。

商品魅力アップ数	基準値	目標値(単位:件)				
商品開発・ブラッシュアップ・プロモーション支援 各年度経営指導員1件を目標値	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	-	6	6	6	6	6

#### (2) 農林業者の6次産業化の支援による実現化

第一次・第二次・第三次産業が自らの強みを生かし様々な形で融合した6次産業化を支援します。

事業化実現数	基準値	目標値(単位:件)				
支援による事業化実現数(累積)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	-	1	2	3	4	5

### 3 取組内容

#### (1) 商品開発・ブランディング・ブラッシュアップ・プロモーション等の支援

地域の特色を活かした商品について、商品の魅力や競争力等、課題解決のため実践的な支援を行い、商品の魅力向上・新たな販路開拓に繋がります。

##### ① 施策活用による商品開発・ブランディング・ブラッシュアップ支援の強化

専門家や補助金活用による、個別商品のブランディング・ブラッシュアップ(開発・改良)・販路開拓支援を強化します。

##### ② 地場産品のブランド力の強化

地場産品の生産者や活用する事業者のモチベーションを高め、ブランド力の強化に向けた取組を支援します。

【取組実施工程表】

R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度
・ 支援メニューの 情報収集	→→→→→→→→	→→→→→→→→	→→→→→→→→	→→→→→→→→
・ 商品開発等支援 ・ 地場産品ブラン ド力強化支援	・ 支援手法検証・ 改善	→→→→→→→→	→→→→→→→→	→→→→→→→→

## (2) 農林業者の6次産業化の支援

豊かな農林水産物と様々な地域資源（自然・歴史・伝統・文化など）を有効活用して、一次・二次・三次産業が自らの強みを生かし様々な形で融合した6次産業化を支援します。

### ① 6次産業化希望者の掘り起こしと事業化支援

行政や関係機関と連携し、潜在的な事業化希望者の掘り起こし、新商品や新サービスの開発を関係機関や専門家によるチームで支援します。

### ② 既存漬物生産者の事業化支援

漬物製造販売者は、改正食品衛生法の改正により令和6年5月までに施設整備が求められており、施設整備を計画する生産者に事業化に向けた支援を行います。

【取組実施工程表】

R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度
・ 6次産業化希望 者の掘り起こし	・ 事業化支援	・ 支援手法検証・ 改善	→→→→→→→→	→→→→→→→→
・ 生産者の洗い出 し	・ 事業化支援	・ 支援手法検証・ 改善	→→→→→→→→	→→→→→→→→

## 施策8 域外需要獲得に導く販路開拓支援の強化

### 1 施策展開方向

地域の人口減少により、地域内のマーケット縮小が急激に進む中、事業者は、新たな需要を獲得する必要があります。

商工会は、優れた商品を持ち、新市場開拓を目指す事業者に対し、物産展や商談会などの新たな販路拡大の機会を提供し、売上の回復や新たな取引先の開拓を支援するとともに、ふるさと納税返礼品への登録を促します。

### 2 施策目標

#### (1) 首都圏物産展開催による販路拡大機会の創出

地域特産品や観光資源をPRし、地元製品の新たな販路開拓の機会を創出するとともに出展支援を強化します。

物産展・商談会出展による新規取引獲得件数 出展者各2件獲得目標	基準値	目標値(単位:社)				
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	-	16	16	20	20	24

#### (2) ふるさと納税返礼品登録の促進

返礼品出品への登録を促進し、事業者の販路拡大のほか当市財政にも貢献します。

返礼品登録事業者数 経営指導員6名で2件の目標	基準値	目標値(単位:社)				
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	-	2	2	2	2	2

### 3 取組内容

#### (1) 物産展開催による販路拡大支援

地域の自然の恵みや地域特産品及び観光資源をPRし、地元製品の新たな販路開拓と首都圏からの交流人口の増加に繋がります。

##### ①首都圏での物産展の開催

魅力ある地域産品を一堂に集め、首都圏市場において、一般消費者や流通事業者へのPRを推進し、販路開拓を支援する物産展を開催します。

##### ②観光シーズンの地域内物産展の開催

「角館の桜まつり」などの観光シーズンに、地域を訪れる観光客をターゲットに地域産品をPR・販売する域外需要獲得のための物産展を開催します。

【取組実施工程表】

R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・物産展出展者の掘り起こし</li> <li>・出展・プロモーション支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援手法検証・改善</li> </ul>	→→→→→→→→	→→→→→→→→	→→→→→→→→
<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催候補地の情報収集</li> </ul>	→→→→→→→→	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催候補地の情報収集</li> <li>・開催地等の検証</li> </ul>	→→→→→→→→	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな開催地での実施</li> </ul>

(2) 商談会等を活用した販路開拓支援

新たな需要の開拓を目指す事業者を支援するため、各種商談会や見本市等への出展を働きかけ、情報提供から出展後のフォローアップまでの支援を行います。

①各団体との連携による出展支援

全国連が開催する「ニッポン全国物産展」や関係機関が主催する商談会（オンライン含）などの出展を働きかけ販路開拓を支援します。

②商談会出展に係る事前支援と出展後のフォローアップ支援

事前の商談力向上、商談後の結果を分析、改善策を検討し、今後の販路開拓に繋がる支援を行います。

【取組実施工程表】

R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・出展者の掘り起こし</li> <li>・出展・プロモーション支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援手法検証・改善</li> </ul>	→→→→→→→→	→→→→→→→→	→→→→→→→→

(3) ふるさと納税返礼品登録の促進

当市の令和2年度のふるさと納税額は14億を超え県内一であるが、返礼された商品の8割以上が「米」であり、商品ラインアップの充実を図るうえでも、返礼品出品への登録を促進し、事業者の販路拡大のほか当市財政にも貢献します。

①返礼提供事業者向け説明会の開催

行政や運営サイトと連携し、返礼品提供事業者向け説明会を開催します。

②返礼品登録事業者の掘り起こしと登録支援

商工会のネットワークを活かし登録事業者の掘り起こしと登録手続きを支援します。

③返礼品登録に向けた商品（サービス）開発・ブラッシュアップ支援

返礼品の質の向上とともに、事業者の新商品企画開発力の向上や販路拡大を専門家の活用やセミナー等開催し支援します。



【取組実施工程表】

R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度
・行政等と調整	・行政等と連携	→→→→→→→→	→→→→→→→→	→→→→→→→→
・説明会・セミナー開催	→→→→→→→→	・セミナー等の検証・改善	→→→→→→→→	→→→→→→→→
・登録事業者募集・出品支援	・募集・支援方法検証・改善	→→→→→→→→	→→→→→→→→	→→→→→→→→

## 施策9 安心・安全・快適な受入れ環境整備の推進

### 1 施策展開方向

新型コロナウイルス感染症や災害等の経験から、今後は、安心・安全が担保されている旅行が選ばれる傾向が強まると予想されます。

商工会では、観光関連事業者の安全・安心対策や快適な環境整備を支援するとともに地域一体となってホスピタリティの醸成を図ります。

### 2 施策目標

#### (1) 観光関連事業者への事業計画策定支援の強化

受入環境整備を計画する事業所に対し補助金活用や資金導入のための事業計画策定、事業継続力強化計画策定について支援を強化します。

観光関連事業者への事業計画策定支援による実行数	基準値	目標値(単位:件)				
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
施策活用のための事業計画策定支援・事業継続力強化計画策定支援実行件数を目標値	-	6	6	6	6	6

#### (2) 観光客をあたたかく迎えるおもてなし活動の推進

観光関係者、次代を担う子どもたちへの働きかけにより地域一体となってホスピタリティの醸成を図ります。

おもてなし活動事業参加者	基準値	目標値(単位:件)				
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
研修会・事業への参加者数	-	-	50	50	50	70

### 3 取組内容

#### (1) 観光関連事業者の受入環境整備の支援強化

国内外からの観光客が安心・安全に、かつ快適に滞在できる環境づくりに向け、感染症対策や災害時対応、外国語表記、自動翻訳機導入等の整備に取り組む事業者に対して支援を強化します。

##### ① 施策活用のための事業計画策定支援

事業者の受入環境整備を促進するとともに、整備を計画する事業者に対し補助金活用や設備資金導入のための事業計画策定支援を行います。

##### ② 事業継続力強化計画の策定支援

自然災害の頻発、新型コロナウイルス感染症などの事業活動の継続に支障をきたす事態に直面する事業者の経営力強化のため、事業継続力強化計画策定を支援します。

### ③キャッシュレス化導入支援の強化

対面販売時の時間短縮に資するキャッシュレス決済の推進は、「新たな生活様式」の構築に不可欠であり、さらなる導入支援の強化を図ります。

【取組実施工程表】

R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度
・施策活用提案・事業計画策定支援	・支援手法検証・改善	→→→→→→→→	→→→→→→→→	→→→→→→→→
・事業継続力強化計画策定提案・支援	・支援手法検証・改善	→→→→→→→→	→→→→→→→→	→→→→→→→→

## (2) 観光客をあたたく迎える受入意識の醸成

観光客のニーズが多様化し、旅行先の地域らしさを感じる様々な交流・体験活動へのニーズを踏まえ、観光関係者、次代を担う子どもたちへの働きかけにより地域一体となってホスピタリティの醸成を図ります。

### ①子どもたちのふるさとへの愛着を高める取組の推進

若い世代への地域産業への興味・関心を抱いてもらえるよう、子供の頃から地域資源を知る機会を作ることで、ふるさとへの愛着とおもてなしの心を醸成します。

### ②時勢に応じた様々なテーマの研修や専門家の派遣

人材育成を行う機関が少ない地域において、「接遇」のほか時勢に応じたテーマの研修会や専門家による個別指導を行います。

【取組実施工程表】

R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度
・子ども意識醸成事業検討	・関係機関と調整 ・事業実施	・事業の検証・改善	・新規事業検討	・新規事業実施
・各種研修会等の研究	・研修会・個別相談会の実施	・研修会等検証・改善	→→→→→→→→	→→→→→→→→

## 施策10 地場産品を活用した「食」による誘客の推進

### 1 施策展開方向

当市には、四季折々の豊かな自然から生まれる春の「生保内たけのこ(田沢湖)」、夏の「殿さま鮎≠桧木内川の鮎(角館)」、秋の「西明寺栗(西木)」らの季節毎の地場産品を活用した料理等が市内一体の飲食店などで提供されています。

商工会では、地域一体となった事業展開により交流人口の増加に繋げていきます。

### 2 施策目標

#### (1) 季節毎の地場産品を活用した「食」の提供事業への参画推進

「生保内たけのこ」、「殿さま鮎」、「西明寺栗」、「まぼろしの田沢のながいも」らの季節毎の地場産品を活用した料理や土産品などを提供する事業者の参画を推進します。

「食」の提供事業参画事業者数 <small>地場産品を活用した料理や加工品を提供する事業者所数を目標値</small>	基準値	目標値(単位:社)				
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	-	25	30	35	40	40

#### (2) 戦略的な情報発信と営業活動の展開

季節毎の地場産品活用による「食」についてプレスリリースを活用した、積極的な営業活動を展開します。

プレスリリースを活用した事業者数 <small>紹介された事業者数</small>	基準値	目標値(単位:件)				
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
	-	3	3	3	3	3

### 3 取組内容

#### (1) 季節毎の地場産品活用による「食」の提供推進

四季折々の豊かな自然から生まれる「生保内たけのこ」、「殿さま鮎」、「西明寺栗」、「新そば」、「まぼろしの田沢のながいも」、「ジビエ」らの地場産品を活用した料理や土産品などの「食」の提供を推進し、交流人口の増加に繋がります。

##### ①地場産品生産者と事業者とのマッチング支援

商工会のネットワークを活用し、地域の生産者や行政と連携し、生産者と飲食店などの事業者をマッチングします。

##### ②季節毎の地場産品を活用した「食」の提供事業の実施

季節毎の地場産品を活用した、「食」の事業を地域一体となって実施し、交流人口の増加に繋がります。

【取組実施工程表】

R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度
<ul style="list-style-type: none"> <li>生産者の情報収集</li> <li>生産者と事業者とのマッチング</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生産者と事業者とのマッチング</li> </ul>	→→→→→→→→	→→→→→→→→	→→→→→→→→
<ul style="list-style-type: none"> <li>参画事業者の掘り起こし</li> <li>食材活用支援</li> </ul>	→→→→→→→→	→→→→→→→→	→→→→→→→→	→→→→→→→→

(2) 戦略的な情報発信と営業活動の展開

季節毎の地場産品活用による「食」についてインターネットやSNSを活用し、時代のニーズに応じた情報を発信するとともに、メディア活用など戦略的なセールス活動を推進します。

①戦略的な情報発信

インターネットやSNSを活用し、時代のニーズに応じた情報を参画事業者とともに発信するほか、地域のインフルエンサーの活用など効果的な情報発信をします。

②関係機関と連携した営業活動

行政や関係機関と連携したキャンペーンやプロモーションなどによる営業活動を展開します。

R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度
・情報発信	→→→→→→→→	→→→→→→→→	・情報発信検証・改善	→→→→→→→→
・プレスリリース	→→→→→→→→	→→→→→→→→	・プレスリリース検証・改善	→→→→→→→→